

運営推進会議記録

開催 日時	平成28年11月28日(月)	場 所	社会福祉法人 洗心会 本部会議室
	14時00分～15時00分		
参加事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・サンフラワーケアセンター(小規模多機能型居宅介護) ・サンフラワーグループホーム(認知症対応型共同生活介護) ・サンフラワーグリーンホーム(地域密着型介護老人福祉施設) 		
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーンホーム 施設長 木下(議長)、生活相談員 古賀(晴) ○ケアセンター・グループホーム 管理者 佐藤(書記)、介護支援専門員 菊田 ○ライフ 介護支援専門員 嶋田 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○小山市高齢生きがい課 菅原様 ○高齢者サポートセンター桑絹 春田様 ○上出井さわやか会(桑絹老人会) 会長 岸本様 ○民生委員 大島様 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ケアセンター利用者家族 井澤様 ○グループホーム利用者 中田様 ○グリーンホーム利用者 大蔵様、入居者家族 塩澤様 ※ケアセンター利用者 松嶋様、グループホーム入居者家族 濱様は都合により欠席 		
<p>活動内容及び回数等 ※別紙 運営推進会議資料参照</p> <p>1. 開会あいさつ</p> <p>古賀) ただ今より、平成28年度第4回運営推進会議を始めます。</p> <p>2. 管理者挨拶</p> <p>木下) 先日は54年ぶりに11月に積雪がみられるような状況で、だいぶ寒くなってきています。これからインフルエンザが流行しやすい時期に入ってきました。洗心会ではご利用者様と職員含めてインフルエンザの予防接種を実施しております。各部署では感染症の予防対策(加湿器の設置、手洗い・うがいの徹底等)を重点的に行っています。</p> <p>先月になりますが、10/30(日)に洗心会ふれ愛デイを実施いたしました。地域の方々のご支援等もあり無事に終わることが出来ました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>今年度も残す所後4ヶ月になりました。次年度事業に関する計画を作成している段階ではございますが、地域の方々からも、ぜひこのような取り組みをしたらどうかというようなご意見要望等ありましたらこの機会にお願いいたします。</p> <p>3. 協議</p> <p>1) サンフラワーケアセンターの活動内容報告及び評価・助言等</p> <p>菊田) ケアセンター運営推進会議資料読み上げにて説明</p> <p>御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。</p>			

岸本) 事故③についての質問ですが、「脱力症状がおきにくいよう体調管理を行う」とあるが、どのような管理を行うのですか。

菊田) この方の場合、脱水があるとお薬の濃度が高くなって、それで副作用としての脱力症状が起こると説明を主治医からいただき、出来るだけ水分補給をしてくださいという指示もあり、目標数値を1,000ml、それと食事水分補給が出来ればという事で目標値を立て、脱水にならないよう支援しています。

岸本) そう考えると、水分は重要なんですね。

菊田) そうですね。夏場の脱水で体調不良を起こすだけではなく、お薬を飲んでいる方にとっては、特に高齢者はのどが渇いた間隔がないので、トイレを頻回に行くのが嫌で水分を我慢する傾向にあります。そうすると、飲んでいるお薬の血中濃度が上がってしまって、副作用が強くなる場合があるということなので、そのような対応をしています。

佐藤) 補足としまして、利用状況についてですが、11/28（月）現在登録者15名となっております。先週1名お亡くなりになられた方がおり、その前にも1名利用解除（他施設入居）となっている。登録者が減少しており、十分な空きがある状況です。利用の形としては色々なパターンで対応が出来る状況にはありますので、ご相談があれば随時受け付けさせていただきます。また、職員動向の部分についてですが、11月に休職中の職員が復帰し、今月の勤務実績が最低の人員基準を満たせそうな状況があるので、12月、1月の3ヶ月満たせる状況にあると判断出来る場合には、人員欠如の解消ということで、小山市へ届出をして手続きを進めていく予定です。

2) サンフラワーグループホームの活動内容報告及び評価・助言等

菊田) グループホーム運営推進会議資料読み上げにて説明
ご意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。

菅原) 誤薬については前にもお話をさせていただきましたが、命の危険性もあるので今一度確認の方法を見直していただければと思います。

大島) 以前いた職場でもやっていましたが、指さし確認はいいことだと思います。駅に行くときと駅員がよくやっていますよね。あのようによくやってみると効果があるのでいいことだと思います。

3) サンフラワーグリーンホームの活動内容報告及び評価・助言等

古賀) グリーンホーム運営推進会議資料読み上げにて説明
御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。

大島) このシャボネットの事故で思い出したんですが、私の父も入れ歯洗浄剤をケースに入れておいてお泊りの時に持たせたら、そこで食べちゃったというのがありました。そういうこともあるので、食べられるもの、食べられないもの等を置かないような工夫をしてみてください。

木下) シャボネットは共用のリビングの洗面台に設置してありました。シャボネット、洗剤について

は手の届かない所、ユニットの戸棚の中に使い終わってしまうという対応をとっています。

岸本) グリーンホームは介護度が高い方が多くて、職員の皆さんが大変だと思います。介護度が高いということは、それだけ事故が起きやすい状況ではありますね。本当に気配り目配りが大切ですね。

4) 地域福祉推進の為の情報提供

○小山市高齢生きがい課

菅原) 前回、小山市役所に「生き生き好齢者応援窓口」とか「生き生き好齢者応援サイト」を開設しましたというお話をさせていただきましたが、11月半ばまでに245人の方のご利用がありました。まだまだ、周知不足で利用者が少ないので、市役所へお越しの際にはお立ち寄りいただければと思います。また、パソコンをお持ちであれば、小山市のホームページに「生き生き好齢者応援サイト」というタグがありますので、そこをクリックすると桑地区には何があるかな等が出てきますので、一度ご覧になってみてください。

軽度者の国の給付が切られそうな話をさせていただきましたが、軽度者の援助サービスについての切り捨ては以降見送ると介護保険の部会で厚労省が言ったという情報が入ってきました。引き続き国としては給付金の抑制ということで、色んな案が出てくるかと思っておりますので、情報については随時確認していきたいと思っております。

最後に、チラシを1枚お配りしましたが、小山市と小山地区医師会共催で行っている事業ですが、在宅医療という言葉が出てきたばかりなんですけども、在宅医療とはなんなんだと知らない皆さんへの説明が不十分かなという事で、「在宅医療講演会」というものを開催しています。8月から各公民館で開催しているんですが、丁度来月の11日が桑市民交流センターで実施予定なのでご案内にまいりました。開園時間が19時からという事で、終わるのが20時過ぎてしまいます。なぜ、在宅医療なのかというと、国がやるという事ももちろんありますが、根底には社会保障費の上昇という事もありまして、今までですと病気になって最後は病院でお亡くなりになるというパターンが多かったんですが、これからはそういう負担が難しくなってくる。在宅で出来る限り医療を受けましょうという形になってくる。皆さんも出来れば病院よりも在宅でという希望も多いかと思っておりますが、介護と医療は同じような状況です。介護の方で言えば、在宅介護の限界点を高める為には3つ必要で、訪問診療、訪問看護、介護保険の訪問系の訪問介護をはじめとするサービスと言われております。その前者の2つが在宅医療のお話になってきます。在宅医療を推進している医師会の先生がおいでになってお話をさせていただきますので、お時間の都合がつく方はぜひ来ていただきたいと思っております。資料の準備の都合上、電話で申し込みお願いいたします。

○民生委員

大島) 特にありませんが、質問として、レクリエーションは外と中とがあるかと思っておりますが、どんな感じで行っているんですか。

古賀) グリーンホームの方では、週に2回程度集まって、手を動かしたり足を動かしたり、ちょっと簡単なゲームをしたり等を行っています。外にできるものとしては、半年に1回程度お花見や焼き肉を食べに行ったりお寿司を食べに行ったりということで時間を設けています。

菊田) ケアセンターは通いの利用者が多いんですが、月に1回のおやつレクや毎日の個別レクだったり、その日の状況に応じて別のレクを提供したりしています。あとは、ボランティアと連絡がつけば来ていただいたりもあります。

グループホームも似たような活動内容となります。

大島) 各事業所によって利用者の状況や人数によって違って来るんですね。わかりました。

○上出井さわやか会

岸本) 特にありません。

○高齢者サポートセンター桑絹

春田) 私も講演会の案内以外には、特にありません。

5) その他

①事例発表

○グリーンホーム

古賀) 平成28年度事例検討資料(報告2)読み上げにて説明。

御意見・御質問等あれば宜しくお願いします。

菅原) リハビリを通して生活力の向上、自立支援の取り組みが素晴らしいと思います。高齢者が元気を保つには自分でどこでもいけるというのが必要なので、リハビリを始めてから要求が増えたというのは、リハビリ以上の一定の効果があつたのかなと感じました。

木下) ご本人は、内向的な性格ではあるんですが、これに取り組んだことにより生活範囲の拡大にも繋がってよかったと思います。

○グループホーム

菊田) 平成28年度事例検討資料(報告8)読み上げにて説明。

御意見・御質問等あれば宜しくお願いします。

大島) 日常生活自立度(寝たきり度)と認知症高齢者の日常生活自立度という表記があるが、どういう意味があるのか。

菊田) 日常生活自立度(寝たきり度)については、自立からA・B・Cとなっており、Cが一番介護が必要な状態という事になります。また認知症高齢者の日常生活自立度は、認知症の症状がどの程度かというのをみるもので、自立からI・II・IIIとなっており、IIIが認知症の状態が重いという見方になります。

岸本) 膀胱トレーニングというのはどんな事をするんですか。

菊田) 膀胱の中に尿が溜まるとトイレに行きたくなるが、その膀胱の中に尿がたまつたと感じてすぐに行ってしまうといつまでたつても膀胱の中に尿をたくさん溜められる状況にならない。膀胱が小さいままになっているので、尿をしたいと感じたとしても10分から20分我慢してからトイレに行くという形をとり、少しずつトイレとトイレの間隔を10分から30分、30分から1時間おきにすると、膀胱が少しずつ伸びて尿が少しずつ溜められるようになってくる。人間の許容範囲があ

る程度あるので、1回300ccぐらい貯めて排出出来るとすっきりした感じもする
 と思います。ただ、男性の場合前立腺肥大があると、結局尿意をもよおしてトイレに行っても
 膀胱を空にするほど全部出し切れないので、残尿感があり、またすぐトイレに行きたくなる
 という所がある。それなのでトイレトレーニングをやってみるのも1つの方法ではないかという
 所です。

岸本) 神経質になるとどうしても尿のことばかりが気になってきてしまうので、別の事に集中出来る
 ようなことがあればいいんだと思うんですけどなかなか難しいですね。

菊田) 夜眠れないと思うとトイレに行きたいと思ってしまうので、日中活動して集中していると1～
 2時間我慢出来る時もあるので、頑張れば出来るのではないかと考えています。

②ケアセンターからのお知らせ

1) 12月・1月ケアセンター・グループホームの行事のお知らせ

佐藤) 上出井さわやか会様には何度かご紹介させていただいて、ご参加いただいております。ありが
 とうございます。今後も12・1月とご参加いただける行事を予定しておりますので、実施3
 日前までに参加人数をご連絡していただければ大丈夫ですので、声掛けしていただき興味があ
 る方がいらっしゃいましたら是非ご参加お待ちしております。

岸本) 分かりました。

2) ケアセンターの外部評価について

佐藤) 外部評価の目的・流れ等を資料読み上げにて説明

事業所で各職員が個別に自己評価を行い、それを取りまとめた段階です。これをまとめたもの
 を運営推進会議を活用した外部評価開催前1～2週間前にケアセンターに関わる委員の皆様
 にお配りさせていただき、それをもとに評価表に記載していただいた上で会議当日ご参加いた
 だきます。事前に記載、評価等が分からない点等については、会議の際にご質問していただき、
 評価していただければと思います。

普段の運営推進会議ではボリュームがあるので、今回は12月に臨時で開催させていただけれ
 ばと考えておりますので、ご協力よろしくお願ひします。12/19・20・21で日程調整を
 検討しております。資料については開催1～2週間前にはお配りさせていただきます。

4. 閉会

古賀) 以上で、平成28年度第4回の運営推進会議を終了させていただきます。お忙しい中ありがと
 うございました。

事業所名	社会福祉法人 洗心会 サンフラワーケアセンター	記録作成日	平成28年12月3日
		記録作成者	管理者 佐藤 誠

